



# おさかな瓦版

No. 58

2014.3

かわ みずうみ  
シリーズ：川や湖のさかなたち だい かい  
第3回

## イワナ



ふーちゃんのトピックス

うみ じゅうけんきゅう さくひん じゅうさくけつてい  
「海とさかな」自由研究・作品コンクール受賞作決定！



ふっくんのなんでもコーナー

きた うみたびだ こ あ  
北の海へ旅立つサケの子どもたちに会いにきて！

# イワナ ～溪流のくいしんぼう～



📷 1. イワナ



📷 2. オショロコマ

イワナは、冷たい水を好み、標高の高い湖や川の上流にすんでいます。イワナはサケの仲間で、サケの仲間の特徴である、アブラビレという背びれと尾びれの間にある小さなひれと、体に小判のようなもようがあります(📷1)。北海道の川にはオショロコマというイワナに近い種類の魚がいます。オショ

ロコマは体に赤い点があり、イワナと区別できます(📷2)。

イワナは、おもに川に落ちた虫や水の中ですむ小さな虫などを食べています。ときに小さな魚やカエル、サンショウウオなども食べることがあります。この習性を利用して、虫や魚に似せた毛針を使って釣り上げることがで



あんじい  
ワンポイント  
アドバイス

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です

## 名前が変わる!?

サケの仲間は、海に下ると呼び名が変わることがあるのじゃ。イワナはアメマス、同じくサケの仲間のヤマメはサクラマス、アマゴはサツキマスと呼ばれることがあるのじゃよ。



イワナ



ヤマメ



アメマス



サクラマス

きます (🐟 チェック)。

ほとんどのイワナは川で一生を過ごしますが、北海道や本州北部の川にはサケのように海に下り、ふたたび川に戻ってくるものもいます。サケは、日本からアメリカの沿岸近くまで大回遊することで知られていますが、イワナは海に下ってから沿岸近くにとどまり、川と海を行ったり来たりする生活を送ります。

海で大きく育ったイワナの体は、小判のまようが消えて、白い点が大きくなっています。このまようが雨のしづくに似ていることから、海に下ったイワナのこをアメマス (雨鱒) と呼ぶことがあります (🐟 ワンポイント)。北海道では、海でのアメマス釣りも人気があります (📷 3)。

イワナは、湖にすむもので40センチ以上、海に下ったものでは80センチ以上になるものもいます。釣りの対象として人気が高く、ま



📷 3. 釣り上げられたアメマス

た塩焼きなどで食べても、とてもおいしい魚です。しかし近年、川の環境が悪くなったり、ダムなどで海と川行き来ができなくなったりして、イワナが減ってしまった川が多くなっています。わたしたちはイワナがいつまでもきれいな川でくらせるよう、川の環境の調査や魚を増やすための研究を進めています。

(山本 祥一郎)



### 毛針のいろいろ

毛針は釣り針に鳥の羽などを巻き付けて、虫などエサにみせかけたもの。いろいろなものがあるよ。



アマゴ



サツキマス



カゲロウ



バッタ



アリ



カゲロウの幼虫



魚



ネズミ

すごいなあ~



イワナもこれには  
だまされちゃうね



ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

「さかなと森の観察園」

〒321-1661 栃木県日光市中宮祠 2482-3  
☎ 0288-55-0055



★電頭の滝のすぐ近く!

# 第32回「海とさかな」自由研究・作品コンクール 受賞作決定!

朝日新聞社と朝日学生新聞社が主催する第32回「海とさかな」自由研究・作品コンクールの表彰式が今年の12月7日に行われました。多くのすばらしい作品の中から、愛知県の草野勇菜くんの自由研究「野生のメダカはどこへ行った?」、福井県の宮永健三郎くんの絵画「夢見るさかな」が水産総合研究センター理事長賞に選ばれました。これらの作品は、農林水産大臣賞に選ばれた2作品とともに3月20日から栃木県日光市にある「さかなと森の観察園」で展示します。



自由研究部門



自由研究「野生のメダカはどこへ行った?」  
岡崎市長三島小学校3年生 草野 勇菜くん



創作部門



絵画「夢見るさかな」  
福井大学教育地域科学部付属小学校5年生 宮永 健三郎くん



「さけの里ふれあい広場」だより

## 北の海へ旅立つサケの子どもたちに会いに来て!

3月になっても雪が深い千歳川周辺ですが、川の中では小さな生き物たちが活発に活動を始めています。1月の初めごろから泳ぎ始めた水槽のサケたちも、エサをたくさん食べてどんどん大きくなっています。そして、雪解けが始まるころには川を下り、北の海を目指して旅立っていきます。およそ2万キロの長い旅に出発するサケの子どもたちを応援しに来ませんか?



### 北海道水産研究所『さけの里ふれあい広場』

〒066-0068 北海道千歳市蘭越9番  
☎ 0123-23-2804



千歳駅、千歳IC(インターチェンジ)から支笏湖へ向かって車で約15分。

▶ウェブサイト: <http://salmon.fra.affrc.go.jp/youran/fureai/fureaihiroba.htm>



食いしんぼうだから、いっぱいエサをあげてね!



大原原を目指して川を下るサケ



ふーちゃん



ふっくん: あんじい仙人のもとで修行している研究員です

## おさかな瓦版 No.58 (2014年3月発行)

編集・発行: 独立行政法人 水産総合研究センター  
質問の送り先・お問い合わせ先: 広報室

〒220-6115 神奈川県横浜西区みなとみらい2-3-3  
クイーンズタワーB 15階

TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702  
ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>



水産庁の主催する魚の国のしあわせプロジェクトに参加しています

表紙写真



イワナ  
(写真: 北海道水産研究所 森田 健太郎)

リサイクル適性  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。